

街

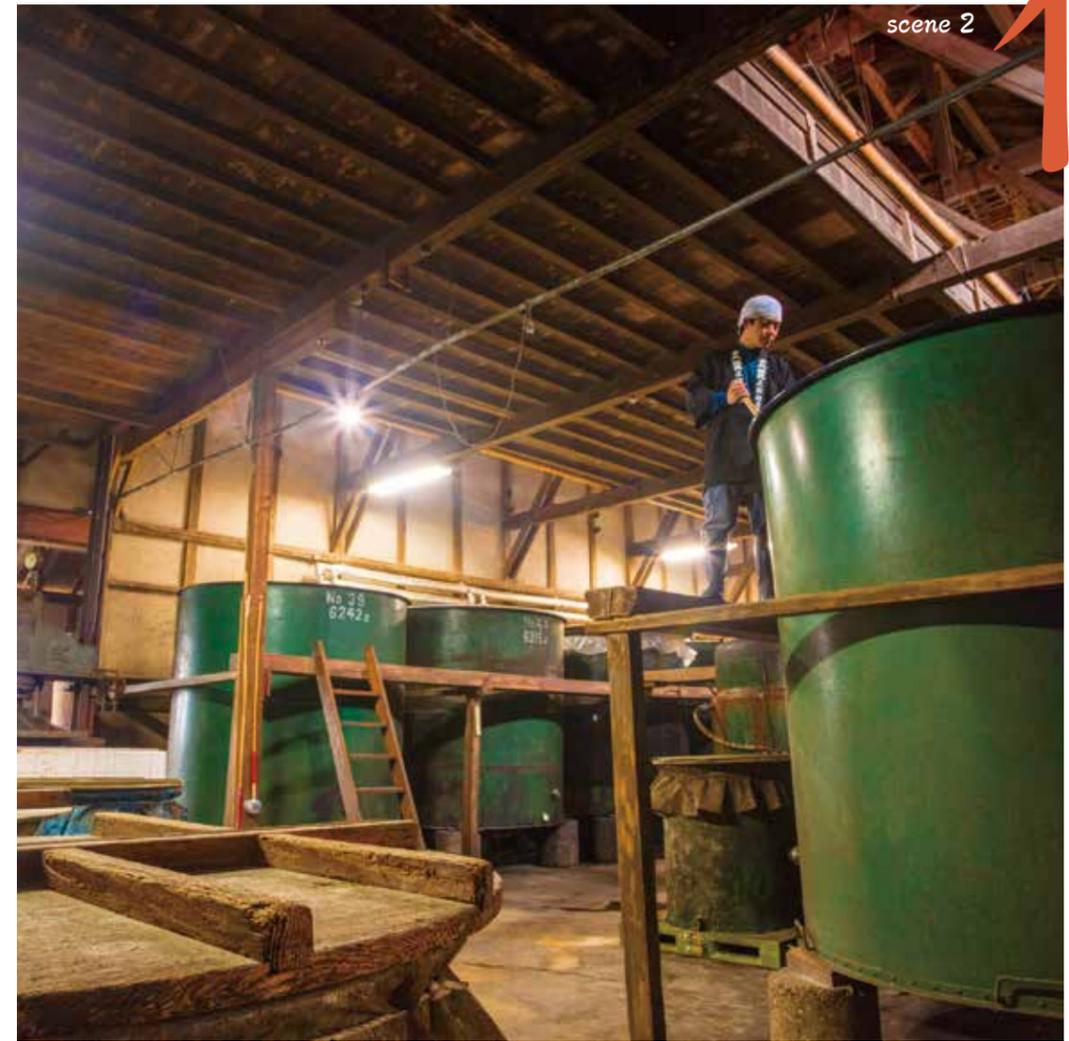
一言の風光明媚な風土が語る
scene 2

のストーリー

変わりゆくもの、守りぬくもの。
まちの彩が人を豊かに変える



海岸のサーフストリート



伝統的な酒蔵の風景



魅力的な商品と笑顔が溢れる町の商店



商店街



古民家を活用した飲食店

一宮町は古くから玉前神社周辺を中心に都市集積が進み、明治初期には県内第6位の人口を有するまでに発展しました。上総一ノ宮駅から玉前神社周辺に広がる商店街は、地曳網漁の隆盛や別荘地としての発展といった時代背景の中で、サービスの拠点として栄えてきました。しかし、1970年代頃からは、大規模郊外店の発展や自動車利用の増加などの影響により商店街における日常的消費は減少していきま

複合施設「SUZUMINE」をオープンしました。
一方、海沿いの県道飯岡一宮線周辺は、従来は店舗や住宅の少ない地域でしたが、サーフィンが盛んになり始めた1970年代頃から、サーフショップの「CHP」やモダンな飲食店などが増えはじめ、町内外の人々の憧れの的となりました。現在は、お洒落な店舗や住宅などがさらに増え、同県道周辺は海外さながらのサーフストリートとして発展しています。今後は、住民の皆さんの合意のもとで統一的な景観形成を図り、さらなる発展を目指します。